

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公表番号】特表2010-505958(P2010-505958A)

【公表日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2009-532414(P2009-532414)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|--------|-----------|
| C 0 7 C | 62/32 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/192 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/198 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/12 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/05 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/122 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 21/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/04 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/06 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/08 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/14 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/16 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/18 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/22 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/24 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/28 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/30 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 27/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 27/06 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/10 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 43/00 | (2006.01) |
| C 0 7 C | 69/18 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|--------|-------|
| C 0 7 C | 62/32 | C S P |
| A 6 1 K | 31/192 | |
| A 6 1 K | 31/198 | |
| A 6 1 K | 31/12 | |
| A 6 1 K | 31/05 | |
| A 6 1 K | 31/122 | |
| A 6 1 P | 21/02 | |
| A 6 1 P | 25/00 | |
| A 6 1 P | 25/02 | |
| A 6 1 P | 25/04 | |
| A 6 1 P | 25/06 | |
| A 6 1 P | 25/08 | |
| A 6 1 P | 25/14 | |
| A 6 1 P | 25/16 | |
| A 6 1 P | 25/18 | |

A 6 1 P 25/22
 A 6 1 P 25/24
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 25/30
 A 6 1 P 27/02
 A 6 1 P 27/06
 A 6 1 P 9/10 1 0 1
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 C 0 7 C 69/18

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

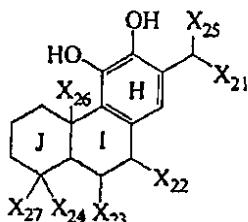
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

哺乳動物における神経学的障害、眼科学的障害、およびその組合せより成る群の一員を治療するための医薬組成物であって、該医薬組成物が式Vで表わされる求電子化合物：

【化1】



式 V

[式中、

X_{21} 、 X_{22} 、 X_{23} 、 X_{24} 、 X_{25} 、 X_{26} および X_{27} は、それぞれ独立してH、OH、オキソ、またはYであり、

YはB-C-DまたはC-B-DまたはC-B-C-Dであり、そのいずれかは環炭素に結合して縮合環を形成してもよく、

Bは存在、カルボニル、カルボキシ、エーテル、スルファニル、アミノ、-NHCO(O)-および-C(O)NH-より成る群から選択され、そのいずれかは場合により置換され、

Cは存在、アルキル、シクロアルキル、アルケニル、シクロアルケニル、アリール、アリールアルキル、およびアリールアルケニルより成る群から選択され、そのいずれかは場合により置換され、かつ縮合環を形成するために環炭素に結合されていてもよく、

Dは存在、カルボキシ、安息香酸、ヒドロキシ安息香酸、 SO_3H 、 PO_3 、 NO_3 、 NO_2 、 NO 、アミノ、ヒドロキシリル、ならびにそのエーテルおよびエステル誘導体より成る群から選択される]

、またはその薬学的に許容されるプロドラッグ、塩もしくは溶媒和物である、上記医薬組成物。

【請求項2】

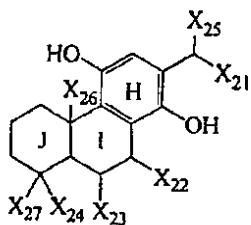
前記求電子化合物が、図3に示されるオルト化合物から選択される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

前記求電子化合物が、カルノシン酸である、請求項1または2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

哺乳動物における神経学的障害、眼科学的障害、およびその組合せより成る群の一員を治療するための医薬組成物であって、該医薬組成物が式IVで表わされる求電子化合物：

【化2】**式 IV****[式中、**

X₂₁、X₂₂、X₂₃、X₂₄、X₂₅、X₂₆およびX₂₇は、それぞれ独立してH、OH、オキソ、またはYであり、

YはB-C-DまたはC-B-DまたはC-B-C-Dであり、そのいずれかは環炭素に結合して縮合環を形成してもよく、

Bは不存在、カルボニル、カルボキシ、エーテル、スルファニル、アミノ、-NHCO(O)および-C(O)NH-より成る群から選択され、そのいずれかは場合により置換され、

Cは不存在、アルキル、シクロアルキル、アルケニル、シクロアルケニル、アリール、アリールアルキル、およびアリールアルケニルより成る群から選択され、そのいずれかは場合により置換され、かつ縮合環を形成するために環炭素に結合されていてもよく、

Dは不存在、カルボキシ、安息香酸、ヒドロキシ安息香酸、SO₃H、PO₃、NO₃、NO₂、NO、アミノ、ヒドロキシリル、ならびにそのエーテルおよびエステル誘導体より成る群から選択される]

、またはその薬学的に許容されるプロドラッグ、塩もしくは溶媒和物である、上記医薬組成物。

【請求項5】

前記求電子化合物が、図3に示されるパラ化合物から選択される、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

前記哺乳動物がヒトである、請求項1～5のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項7】

前記神経学的障害、眼科学的障害、またはその組合せが、精神的外傷、虚血、および低酸素症より成る群の少なくとも一員に起因する、請求項1～5のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項8】

前記神経学的障害、眼科学的障害、またはその組合せが、疼痛を伴う神経障害、神経障害痛、糖尿病性神経障害、薬物依存、薬物添加、薬物離脱症状、ニコチン離脱症状、アヘン耐性、アヘン離脱症状、うつ病、不安神経症、運動障害、遅発性ジスキネジー、血液-脳関門を中断させる脳感染、髄膜炎、髄膜脳炎、発作、低血糖症、心停止、脊髄傷害、頭部傷害、周産期低酸素症、心停止、低血糖神経傷害、緑内障、網膜虚血、虚血性視神経障

害、黄斑変性症、多発性硬化症、高ホモシステイン血症の続発症、けいれん、疼痛、統合失調症、筋けいれん、片頭痛、尿失禁、嘔吐、脳浮腫、遅発性ジスキネジー、AIDS-誘発（または関連）認知症、眼傷害、網膜症、認知障害、およびHIV感染と関連した神経傷害より成る群から選択される、請求項1～5のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項9】

前記神経学的障害、眼科学的障害、またはその組合せが、てんかん、アルツハイマー病、血管（多発梗塞性）認知症、ハンチントン病、パーキンソンズム、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、および最小認知障害より成る群から選択される、請求項1～5のいずれか1項に記載の医薬組成物。